

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年) 10月15日
所属名:高島農産普及課
番号:H24016
発信者名:中井、松尾



高島地域鳥インフルエンザ等防疫演習を実施しました

令和6年9月30日に、高島地域特定家畜伝染病防疫演習を集合場所となる淡海生涯学習センター(安曇川町下古賀)で実施しました。当日は高島管内の各県機関や高島市役所が参加し、実際に発生した時の動きを想定し、集合場所及びテント基地の設営やシミュレーションを行いました。

職員数が少ない当地域では、県機関や市役所が一丸となって現地対策本部を運営する必要があります。当日は農業農村振興事務所はじめ、健康福祉事務所、土木事務所、環境事務所、高島納税課、家畜保健衛生所、高島市役所から50名の出席がありました。全体説明の後、各係に分かれ、係長の指示に従ってマニュアルの手順確認や会場設営を実施しました。その後、防疫作業従事者役の職員に実際に集合場所とテント基地を回ってもらい、動線や作業性を確認しました。

実際に集合場所等を設営する演習は3度目となり、今回は現地保健班でリモートでの診察が試みられ、また、総務係・調整係では係間での連絡のシミュレーションを行うなど、より効率的な方法を模索しました。また、集合場所係、テント基地係、消毒ポイント係は新規採用や異動により高島地域に配属された職員と一緒に作業することにより、設営ノウハウの伝達が図られました。

演習後に実施したアンケートでは、実際の準備や流れが把握できた、他の班や係との連携がイメージできたなどの意見があり、多くの方が実際に起こった時どのように動く必要があるかの理解が進んだと回答されました。実際に動いてみることで気付くことも多く、マニュアルで伝えにくい部分を動画等で補足してはどうか、集合場所に動線や説明パネルを掲示してはどうかなど、改善に向けた提案も寄せられました。

万が一に備え、引き続き、関係機関の協力を得ながら体制整備に努めます。



リモート診察の実演



車両消毒の実演